

## 「電力技術に関する技術交流会」を開催しました

2019年10月1日  
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）は、「電力技術に関する技術交流会」を下記により開催いたしましたのでお知らせします。

鉄道総研では各技術分野について、実用的な成果をパネルや製品の展示を用いて紹介することを目的とするとともに、参加者の皆様からご意見を伺い今後のマーケティングの参考とするため各技術分野における交流会を開催しております。このたび電力技術分野に関して、去る2019年9月24日に日本工業倶楽部会館において「電力技術に関する技術交流会」を開催し、鉄道事業者を中心に58社、130名の方々にご参加いただきました。参加者のみなさまに展示パネルやシステムの画面、開発品の実物などをご覧いただくことにより、参加者のみなさまと説明者等との間での技術的な討議や、今後の展開、デジタル技術の活用動向、耐震対策などに関する意見交換を行いました。

### 【今回のポイント】

鉄道総研では、地球環境問題への関心の高まりや今後の労働力不足に対処するため、電気鉄道の省エネルギー化や電力設備の省メンテナンス化・信頼性向上にむけた研究開発に取り組んでいます。今回は、こうした研究開発の成果から実用化段階にある成果8件のパネル展示を行いました。このうち、電力設備用接地システムの耐雷性検査手法については、新たに開発した検査装置の展示も行いました。

1. 開催日時：2019年9月24日(火) 13時00分から17時30分
2. 場 所：日本工業倶楽部会館 中ホール （東京都千代田区丸の内）
3. 展示件名：

#### 【電気鉄道の省エネルギー化】

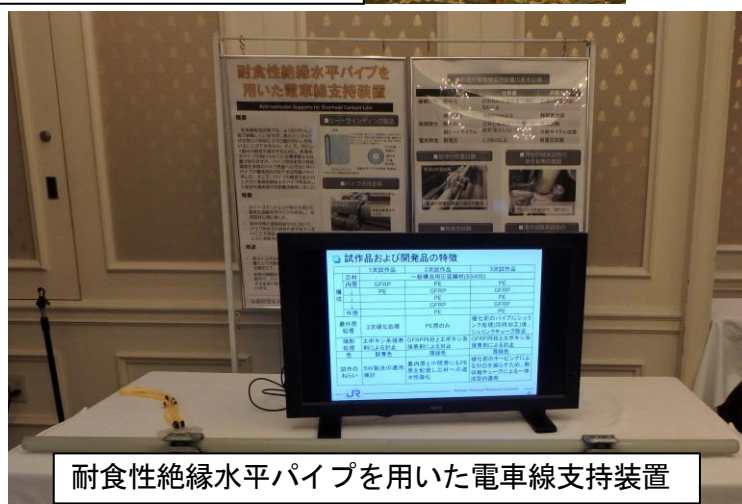
- ・超電導フライホイール蓄電システム

#### 【電力設備の省メンテナンス化】

- ・画像を活用した電車線金具モニタリング

#### 【電力設備の信頼性向上】

- ・耐食性絶縁水平パイプを用いた電車線支持装置
- ・三次元架線・パンタグラフシミュレーション
- ・既存電化柱に対する耐震工法
- ・門形支持物の線路方向に対する地震応答評価
- ・電力設備用接地システムの耐雷性検査手法
- ・リアルタイム離線集計装置「パンタステーション3」



展示会場